



第424回 5/2(火)

「大和市民活動センター」会長 望月則男

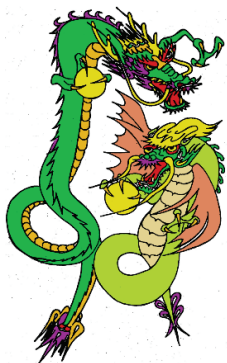
今日は「八十八夜」立春から数えて88日目。「茶摘み」の話題、そしてマンドリンの演奏から新編成(今回から30分)～やまとっこ☆みつけた～が始まりました。内容が面白い新しい公共”市民活動推進条例”や”協働事業”市民活動”などですが、パーソナリティー今城さんのリードで 時間内 大和市民活動センターの役割などをまとめてもらった感じです。多くの団体が問題としている”高齢化”！放送中、聴衆に語り掛けながらコードを入れ替えたり、次のCDを準備している今城さんを感じながら聞いていました。お礼の色紙は『若い今城さんと老いた私♪』放送後お母さんが入院なんだそうで、慌ただしいご様子でした。望月



第425回 5/16(火)

「神奈川探龍倶楽部」代表 上田康史さん

「神奈川探龍倶楽部」は10年ほど前に発足し、神社仏閣に施された装飾彫り、特にその中の龍の彫り物を調査研究しています。来年は辰年。これを目標として10年間やってきたそうで、今、神奈川全体で「神奈川88龍巡り」のガイドブックを作成中。四国のお遍路さんに対抗というわけではないけれど「八十八」は縁起の良い数字なので、通年を通して回れるものを作りたいとの抱負を語りました。



第426回 5/30(火)

「Story Time」代表 川村佳織さん  
会員 佐々木優韻さん

英語は発音が難しいし、ちょっと苦手…と思ったことはありませんか？でも絵本や歌を通して英語に触れてみるとあら不思議！とっても楽しいですよ♪

Story Timeではお子様だけでなく大人も一緒に英語を簡単に楽しむ事が出来ます。おうちで日本語の絵本を読んだり歌を歌ったりするのと同じように英語絵本や英語の歌を楽しむきっかけ作りが出来れば、子供達にとっても英語が身近なものになり可能性がどんどん広がります♪

Story time,  
Story time,  
How are you?  
I'm good thanks!



あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

# あの手 この手

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第191号 2023年6月10日 大和市民活動センター【拠点やまと】発行

6月号  
2023

ペテルギウス玄関  
6月1日の生け花



表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催  
2022「第15回やまと国際アートフェスタ」  
入賞作品を毎号掲載しています。

今回のテーマ ～平和・いま私にできること～

(株)厚木ガラススタジオ賞 小泉 ヴィヴェク 田さん  
緑野小学校3年生(受賞時は西鶴間小2年) ネパール

\* 5月号の表紙絵の作者ふりがな及び国籍表記に誤りがありました。正しくは、かりのりおさん、国籍は日本です。お詫びして訂正いたします。

タイトル:「世界中の人がスイミーのように仲良くを海でイメージ」  
メッセージ:小さいスイミーが集まって、大きな魚に変身することもある。小さくても一匹ずつ生きている。世界中の人間も同じ。

「やまと国際アートフェスタ」は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) \*の主催で毎年開催されています。

\*草の根の国際交流、外国人支援を行いながら「ともにくらすまち 大和」を考えるボランティアグループです。

協働事業・市民活動推進補助金事業報告会を開催

5月29日、文化創造拠点シリウスにおいて、令和4年度実施事業の報告会を開催しました。

協働事業は事業者と担当課双方からの報告です。多くの団体が事業の継続と若返り、そして社会資源・人材開発の必要性を会場いっぱい訴えました。

- ◆協働事業令和4～6年度実施事業 (8団体)
- ◆協働事業令和3～5年度実施事業 (3団体)



★大和市民活動センターも市との協働で運営しています。

「ここに来れば、何かがある。  
魅力的な人に出会える。  
情報が得られ、情報を発信できる。  
活動が広がる、活動がつながる。」を目指します。

続いて、補助金交付団体からの報告がありました。各事業の報告後、補助金アドバイザーとの質疑応答があり、会場参加者との意見交換も行いました。協働事業報告で居合わせた市の関連担当課から、広報の協力も出来ますよ、と声を掛けてもらえたり、うちの団体にも来て講座をしてほしいと依頼を受けたり。繋がりを感じた報告会でした。

- ◆令和4年度市民活動推進補助金事業 (4団体)



## TSUBASA's トーク 第20回 「お金をかけない20代の遊び」

「守りに入らず工夫なさい」

農山村ボランティアでお世話になった40代の女性に言われました。「20代のうちにお金をかけない遊びを覚えなさい。自分なりに考えて工夫する。できることを探す。守りに入らない。年をとって40代くらいから遊ぼうと思っても、考える力と体力に限界があるから」

体力と考える力は自制しなければ養っていきける気がしていますが、この話を信じて自分なりに攻めてみた体験を2つ紹介します。



1年前は泥の中

「田舎者が表参道を歩く」

1年前は田植えをやっていた僕が、ハイブランドの店が並ぶ表参道を歩き、カルチャーショックを受けたという話です。

「これから多くの人に出会うのだし、外見についての感性も磨こう」とウィンドウショッピングに精一杯のオシャレで臨みました。紺の細かい模様の半袖襟シャツと、黒の細身のジーンズ、縦に長めのフォーマルな紺の靴。「そういえば靴以外お下がりじゃん」と気付いて歩いた原宿方面への通りには、大学生から30代くらいの本当にオシャレな人たちが集まり、人の流れができていました。「ここに若者がいたのか」と思いました。ツナギを着ている人も長靴を履いている人もいないし、走っている車は軽トラではなく高級車ばかり。高層ビルを周りの目を気にして見上げました。田舎から帰ってきた直後は都会の人混みや音、匂いで気分が悪くなっていましたが、次第に慣れてきたようです。

これが都会の服か



「泉の森で野鳥のスケッチ」

野鳥のスケッチを始めました。カルガモやアオサギのような動きが遅い人馴れした鳥が、泉の森の観察池に集まるので、休日の昼過ぎ頃に描きに行っています。カメラを持っている時よりもマニアに思われるのか、バードウォッチャーや写真撮影の方々に「近くに巣がありますか？」などと声をかけられるようになりました。

学生時代から植物を描きたいと思っていたのですが、友人の付き添いで訪れた新宿の画材店で、鳥の描き方についての教本に出会いました。「骨格と生態を知った上で観察して描くことで、自然に深く関われる」というテーマだったので魅力的に感じました。

スケッチは敷居が高く感じて手を出せずにいましたが、始めてみるとお金はかからず、鳥の微妙な仕草に愛おしさを感じるようになりました。小川にいるカルガモが首を伸ばしてクチバシで泥の中を探っているところ、アオサギがじっと足元をみてそのまま動かないところ…

6月末に共有セミナーでお話を担当させていただくことになっています。月に5万円で生活した農山村暮らしとボランティア活動を紹介しつつ、市民活動団体の皆さまとお話しできれば嬉しいです。(サポーター 尾畑 翼)

伊野鳥のスケッチ



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第191号 発行日: 2023年6月10日

大和市民活動センター <開館日 月～土 9:00～18:00>  
<休館日 12月29日～1月3日・毎月第3月曜日>  
〒242-0018 大和市深見西1-2-17

発行:大和市民活動センター 拠点やまと

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788  
e-mail:yamato@ar.wakwak.com  
http://www.kyodounokyoten.com/



## ウイズコロナ、ポストコロナの時代 市民活動、NPO活動、生涯学習団体の活動を訪ねて

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になりました。これとともに、世の中のさまざまな活動が、4年ぶりにコロナ前の日常を取り戻してきています。気候もよくなり、初夏を通り越して、真夏がやって来たような日も多かった5月。わたしたち、大和市民活動センターのスタッフも各団体にお招きをいただき、その活動のほんの一端を体感することができました。今号では、その報告をさせていただきます。

### 特定非営利活動法人 地域家族しんちゃんハウス 「法人設立20周年記念式典」5月20日(土) シリウス サブホール&ギャラリー

多くの参加者・招待者 そして関係各位の支援協力で実に立派な式典でした。館合理事長の述べる“感謝！ありがとう！”の雰囲気を含まれ、コンサート、子ども達の合唱もあり そして子どもの絵本朗読「いつもいっしょ」ではジーンと心に響き、思わず姿勢を正しました。ギャラリーではパネル展、お楽しみブースは似顔絵コーナーやフラワーアレンジメントで賑わっていました。また色々な人との出会いもありました。座っていると後や横から声が掛かり、ギャラリーやロビーでは昼食のお誘いもありました。が…真つすぐ“大和市民活動センター”に戻り、今度は ベテルギウス来館の皆さんに“フィードバック”♪ しんちゃんハウスの“わ”が広がっていった素晴らしい感動の日でした。(望月 則男)



### 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン大和 第21回通常総会 5月26日(金) 桜丘学習センター

Women's Empowerment～女性が力をつける～立派な団体名、立派な活動！初めて参加させていただいた総会でとても光栄に思っています。総会後のWE講座「知っていますか？ふくしまの今」。いわき市地域住民により設立された放射能市民測定室たらちねは東日本大震災原発事故から子どもたちの健康を見守る活動を12年続けてきました。見えにくい・におわない・感じない放射能による環境汚染と長期的に向き合い、膨大な測定データの分析…大変勉強になり感動しました。

この夏4年ぶりの中高生ボランティアイベント「このゆびとまれっ！」いつも応援していただき感謝な気持ちでいっぱい。監事の大木さんの案内でWEショップも見学をさせていただきました。

### 特定非営利活動法人 ワークス・コレクティブ ケアビーくる 第26回通常総会 5月21日(日) 大和生涯学習センター(シリウス6階)

以前よりNPO・市民活動の観点から色々な事を学ばせてもらっている総会の一つです。活動内容は勿論、会計と会計監査・監事報告をお手本としてきました。思い掛けない急な挨拶に立って皆さんを見ますと“奥平理事長はじめ見慣れたお顔がズラリ！”思わずマスクを取って挨拶しようと…「いや駄目だ！一昨日、ハチに鼻を刺されて赤く腫れていたんだ…」

シリウスの6階、天気は快晴！そして綺麗に飾られた室内…そんな中での質疑応答はとても建設的で参考になりました。従来の会計監査“収支ともに間違いありません”の単なる事務的作業を超えた民間会社の業務監事のコメントのような“業務・運営改善”を意図する内容でした。帰り際 役員から“かながわ土地建物保全協会”助成金35万円は、大和市民活動センターからの情報なのでよ！ありがとうございました”を聞いて「わっ！ニュースレターがお役に立ったんですね！」嬉しくなって戻りました。(望月 則男)



大木さん、どこかで会ったことがある気がする～そうだ！4日前日中友好協会のセミナーで一緒だったね～その時頭の頭に「It's a small world」ふと浮かんだ♪

世界中どこだって 笑いあり涙あり  
みんなそれぞれ助け合う 小さな世界  
世界中誰だって 微笑みあえば仲良し  
みんな輪になり手をつなごう 小さな世界  
世界はせまい 世界は同じ  
世界はまるい ただひとつ



今年1月に日中友好協会の春節の集いで大和ウクレレ倶楽部の仲間と英語・日本語・中国語で弾き歌いました♪世界の平和を祈って (佐々木 優韻)

### やまと国際フレンドクラブ(IFC) 4年ぶりに「だべ～る」ブラジル風BBQ開催 5月20日(土) 泉の森ふれあいキャンプ場



パイナップルの炭火焼



ソーセージ

豪快なニク・にく・肉～♪

### 第53武相華道展に大和華道協会が参加 5月19日(金)～22日(月) 町田パリオ4階 パリオフィールド \*10市町(県下10市町と町田市)の華道協会が参加

5月の開催により四季折々の色鮮やかな花々が飾られていて、写真を撮りながら創造力を働かせ、頭をフル回転させながら撮っていたので凄く楽しい時間でした。いや～綺麗な作品を見ていると心が癒されますね。(吉浜 学)



作 大垣 鳳策(小原流)

ブラジル、中国、ペルー、セネガル、日本の仲間たちが共に楽しむ「だべ～る」は最高でした。特に砂糖漬けにしたパイナップルを炭火で焼くのは斬新でした。甘みが増してとても美味しかったです。(吉浜 学)



### 季節を訪ねて、徒然なるままに(Fの随想)

Fは、カメラを持って、ふいとでかけることも楽しみのひとつにしている。その日の狙い目はあるけれど、目の前に現れたものが、「きれい！」「クール！」と思ったら、シャッターを切る。いいな、何かあると思った場や人に出会ったら、粘って、アングルを変えて、光をみて、粘る。そういうことができるようになった。これは写真の師匠の教えの実践。写真現場に仲間と同行して、ワインを飲んで、イタリアンを食べて、イタリアを旅して、また、Fのライフワークである、春夏の京都旅などで、自然に見つけたもの。寺社に写真を撮りに行くと2時間は留まりファインダーを覗く。

右の写真は、4月1日鴨居駅から「江川せせらぎ緑道」に染井吉野とチューリップのコラボを撮ろうと鶴見川沿いのウォーキング・ロードを歩いている時に出会ったときのもの。チューリップの背景のピンクは桜です。京都の写真はいずれ。

